

＼ 本音で話そう！ ／

「先輩の部屋」

先輩 × 後輩 対談



品川さん: 学生から社会人になってみて、ギャップのようなものは感じていますか？

弘田さん: もちろん時間的に自由がきかなくなった部分はありますが、社会人は社会人の楽しさがあると感じています。

品川さん: 仕事のやりがいも少しずつ感じ始める頃じゃないかな？

弘田さん: 徐々に理解できることが増えてきて、窓口などで自分の言葉できちんと説明し、お客様に感謝の言葉をかけていただけたりすると、とてもやりがいを感じます。

品川さん: 大学で学んだことを発揮できる場面もありますか？

弘田さん: そうですね。大学では建築を幅広く学んだのですが、提出された図面などを見て地区計画に適合しているか確認し、その建築物が実際に完成した時には「勉強してきたことが実務に生かされた」と、とても嬉しかったです。



弘田さん: 仕事を続けていくうえで、品川さんはどんなふうにもモチベーションを保っていますか？

品川さん: 同じ職場のモチベーションの高い人から刺激を受けることが大きいかな。あとは休みの日などに、いい意味で「仕事を忘れる時間」も大切にしています。

弘田さん: なるほど、むりやりモチベーションを上げようとするよりもメリハリが必要ですね！ お休みの日はどんなふうにご過ごして、仕事モードから切り替えているんですか？

品川さん: 2歳の子どもがいるので、とにかく子どもとずっと遊んでいます。自然とスイッチが切り替わっている感じかな。弘田さんは休みの日はしっかりオフできていますか？

弘田さん: 友だちと遊んだり、家でのもんびりしたり、切り替えているつもりではありますが、仕事でちょっとうまくいかないことがあったりすると頭をよぎる時もありますね（笑）

品川さん: 真面目なところが弘田さんの素敵なおところだね。でも、意外と自分で思うよりもそういう失敗は小さかったりすることもあるから、気にしすぎなくて大丈夫！

弘田さん: 仕事とプライベートのバランスを徐々に取れるようになっていきたいです。仕事も子育てもこなしている品川さん、すごいなと尊敬します。

品川さん: でも、私が子どものことで急に何かあったりすると、弘田さんがきちんとサポートしてくれるでしょう。すごく助けられていると感謝しています。

弘田さん: 私は品川さんのコミュニケーション上手なおところをもっと見習いたいと思うのですが、何か秘訣はありますか？

品川さん: うーん、何だろう？ すごく意識してやっているわけではないけれど、敬語をきちんと使いつつ、フランクに話すことは大切な気がします。そのほうが心の壁を越えられたりするんだよね。

弘田さん: そのさじ加減がすごく難しく、私はいつも参考にしたいなと思っています。社会人になって、どこまで敬語を使うのが正しいのかが結構難しいです。

品川さん: まちづくり分野では地元の方と話す機会も多いし、経験していくうちに自然と加減が身についていくと思います。あとは、同じ課の上司とぜひもっと交流してみたいな。みんなが私を通して「弘田さんの様子はどう？」って探りを入れてくるの（笑）

弘田さん: そうなんですか？！ でも確かに、自分から何か雑談をする余裕が今まであまりなかったかもしれないです。

品川さん: 仕事とは関係ない他愛もないことを話しているうちに、意外と仕事でもいい関係を築けるようになっていたりするんだよね。みんな待っているからぜひ挑戦してみてください。

弘田さん: はい、ありがとうございます。

品川さんをはじめ、みなさんに支えてもらいながら、台東区職員として様々な知識を身につけて、まちづくりを幅広い視点から考えられる職員になることを目標に頑張ります。



先輩

地域整備第一課
品川 愛美さん
(平成30年度入区)



後輩

地域整備第一課
弘田 絵梨奈さん
(令和4年度入区)